

授業モデル2 (中学校第1学年 Unit11 「思い出の一年」)

中学校では、伝えたいことについて、「正しい表現・綴りで英文を書く」ことを目指した授業づくりが大切です。



1 単元名 New Horizon English Course 1 Unit 11 「思い出の一年」

2 目標

- (1) コミュニケーション活動に意欲的に取り組むことができる。
- (2) 過去の出来事について、自分の経験を述べたり、ALTに質問したりすることができる。
- (3) 一般動詞の過去形や過去の動詞の疑問文・否定文を理解することができる。

授業充実の3ポイント	主な学習活動	分	○教師の具体的な働きかけ ◇評価	
[目標の明確化] ○ 興味関心が生まれる導入 ○ 課題意識の焦点化と学習課題の設定 ○ 解決の予想と見通し	1 Greetings and Warm-up 元気よく挨拶をする。前時までに学習した一般動詞の過去形を使って対話活動を行う。	10	○ 本課のタスクを達成するために作成した英文を用いて、相手に冬休みにしたことを伝えるよう指示する。	
	2 Today's Task 友達に冬休みにしたことをたずねたり、答えたりできるようになる。	3	○ 友達の対話を通して、質問したいと思ったことをメモさせる。	
[山場の工夫] ○ 自立解決による最初の考え(仮設)の構築 ○ 考えの交流(学び合い) ○ 自立解決による最終的な考えの構築	3 Listening 本文を通して聞く。	17	○ 本文のダイアログをテキストを見ずに聞かせ、予想を立てさせる。インタラクションを通して聞き取りのポイントを与える。 ○ didを使った疑問文、否定文のパターン・プラクティスを行う。 ○ didを使ったたずねたり否定したりするときは、動詞が原形になることを確認する。 ○ 3つのイラストを見て、友達に質問し、答えてもらったサインをしよう。 ○ 疑問詞+did~?の疑問文とその応答の形を理解させる。	
	4 Target Sentence didの使い方を理解し、練習をする。			
	5 Practice ワークシートの表の中から、冬休みにしたことを友達に質問する。 A: Did you study math during winter vacation? B: Yes, I did. / No, I didn't. I didn't study math. Sharing 教師からの質問に答える。 T: What did Miki do during winter vacation? S: She cooked zoni.			
	6 Activity 友達と、冬休みの思い出について対話活動をする。		○ 本課のラーズタスク「ALTへのインタビュー」に向けて、これまで積み上げてきた表現に、本時で学習した表現を使って1文加える活動をする。	
	7 Writing for Large Task トーマス先生の冬休みについてたずねたいことを考えて書く。	15		
[確かめ見届け] ○ 学習のまとめ ○ 習熟 ○ 振り返り	8 Consolidation 本時のまとめを行う。 A: Did you watch TV during winter vacation? B1: Yes, I did. B2: No, I didn't. I didn't watch TV.	5	○ インタラクションを通して口頭で簡潔に行う。 ◇ 過去の動詞の疑問文・否定文の形や意味・用法を理解することができたか。 ○ 自己評価では、ラーズタスクに向けた取組についても評価させる。 ○ ALTに更に聞きたいことを考えて書いてくるよう指示する。	
	9 Evaluation 自己評価カードに記入する。			
	10 Assignment 家庭学習と次時の学習について確認する。			

視点1

視点2

【コアティーチャーネットワークプロジェクト外国語科部員】

中島 彩 (小宿小), 井上 恵美 (名瀬小), 川上 潔 (大和小), 石原 明子 (龍南中), 松野下 智裕 (兼久小)
 津原 康 (赤木名中), 傳 真佐美 (金久中), 時田 三紀 (大和中), 濱田 賢志 (阿室中), 江川 順子 (亀津中)
 新 彰 (奄美市教育委員会), 宮之脇 圭 (大島教育事務所)

《令和元年度》学力定着のためのリーフレット 外国語活動・外国語科編
 =コアティーチャーネットワークプロジェクトまとめ=

大島教育事務所

「『主体的・対話的で深い学び』の実現による学力向上プログラム」の一環として行われたコアティーチャーネットワークプロジェクトで「質の高い授業」のモデルづくりに取り組みました。大島地区で課題のある単元や指導法に焦点を当てていますので、ぜひ、参考にして日々の授業に生かしましょう。

1 大島地区の外国語科の課題

(1) 「鹿児島学習定着度調査」の結果(県の平均正答率との差)から観点別では特に「外国語表現」、領域別では「話すこと」に課題が見られました。

	中1		中2		
	H29	H30	H29	H30	
観 点	外国語表現	-2.8	0.5	-2.0	-4.8
	外国語理解	-5.3	-1.2	-4.7	-4.1
	言語・文化の知識・理解	-2.1	1.0	-0.8	-3.7
領 域	聞くこと	-5.2	-1.3	-4.8	-4.1
	話すこと	-6.0	-1.3	-5.0	-5.5
	読むこと	-5.4	-1.0	-4.6	-4.2
	書くこと	-1.0	1.7	-0.1	-4.3



(2) 「公立高校入学者選抜学力検査」の分析等から

2 次は、職場体験(work experience program)の体験先一覧の一部と、それを見ている Naomi, Kenta と留学生の Cathy との会話である。三人の会話が一覧の内容と合うように、(①) ~ (③) にはそれぞれ英語1語を、(④) には3語以上の英語を書け。

職場体験 (11/6~11/8) について

1. 南九州水族館
 時 間: 9:15~16:00
 実習内容: 1日目 魚や海洋動物についての学習
 2日目 魚へのえさやり、水そうの掃除
 3日目 イルカショーの補助 (終了後、イルカとの写真撮影あり)
 ※三人一組で申し込むこと。

2. フレッシュ鹿児島スーパーマーケット
 Cathy: Hi, Naomi! Hi, Kenta! What are you doing?
 Naomi: We are reading about a work experience program at an aquarium.
 Kenta: We are planning to choose this program.
 Cathy: Oh, that's interesting. Please tell me about it.
 Naomi: We'll learn about fish and sea (①) on the first day.
 Kenta: And on the second and third days, we'll work with the aquarium staff!
 Cathy: Oh, really? What kind of work will you do?
 Naomi: We'll (②) the fish some food and clean some tanks.
 Kenta: We can also help the staff with the Dolphin Show*. After that, we can take (③) with the dolphins!
 Cathy: Wonderful! (④) with you?
 Naomi: Of course you can. One group should have three people, so we need another student.
 Cathy: Great!
 注 aquarium 水族館 staff 従業員 tank 水そう Dolphin Show イルカショー

県の結果分析によると、単複や時制の誤答が多かったとあります。言いたいことが浮かんでいても、それらを正しい綴りで「書く」ことが困難な生徒が多いことが分かりました。

(3) 「鹿児島学習定着度調査」の質問紙等から質問紙等から、「教師の説明を聞く授業が多い」と感じている児童生徒や、「自分の考えを文章にまとめたり、話し合ったりする活動が少ない」と感じている児童生徒がいました。

そこで、「話すこと」「書くこと」の関連を重視した学習を進め、児童生徒に学びの必然性を感じさせるタスク達成型の授業づくりが大切であると考えました。



2 授業づくりのポイント

【視点1】 「話すこと」を中心とした task-based の単元計画と授業構成の工夫

【視点2】 学習した内容を家庭学習につなげる確かめ見届けの工夫

授業モデル1 (小学校第6学年 We Can 2 Unit 9 Junior High School Life)

1 授業設定の理由

これまでのことを踏まえ、調査結果等で通過率の低かった、聞き取った英文に正しく解答したり、既習の文法を想起して書いたりする力を身につけさせるために、「話すこと」を中心とした Task 達成型の授業、学習した内容を家庭学習につなげる「確かめ・見届け」を重視した授業を展開していくことが大切であると考えました。



それでは、授業づくりの視点を踏まえて、令和元年度コアティーチャーネットワークプロジェクトで作成した授業モデルを見てみましょう。

2 授業の概要

- (1) 単元名 We Can 2 Unit 9 Junior High School Life
- (2) 本時の目標 (5/8)
 - ア 部活動や学校行事など中学校生活について伝え合おうとする。
 - イ 今まで学習した表現を使って、自分の考えを表現しようとする。

3 本時の指導のポイント

- (1) 既習事項を振り返らせ、活用する場を設定することで、学習内容の定着を図る。
- (2) 学び合いの場を設定することで、児童が自分の考えを表す表現を主体的・対話的に学べるようにする。
- (3) 音声で十分に慣れ親しんだ英文を「書く」ことにより、学習内容を可視化し、確かめることができるようにする。

授業充実の3ポイント	主な学習活動	分	○教師の具体的な働きかけ ◇評価
[目標の明確化] ○ 興味関心が生まれる導入 ○ 課題意識の焦点化と学習課題の設定	1 英語であいさつをし、チャンツをする。 2 本時のタスクを確認する。 入りたい部活動や楽しみにしている学校行事について、その理由を伝え合おう。	10	○ 英語であいさつをした後、天気・曜日・日付を尋ねる。 ○ デジタル教材のチャンツの絵を提示して一緒に言う。 ○ 本時のタスクを示し、全体で確認する。
○ 解決の予想と見通し	3 第1時で見た映像を見て理由を表す表現を確認する。 [映像の英語] I like soccer. I can run fast. I want to play soccer in high school. [理由を表す表現] I like ~. / I can ~. I want to ~. / I'm good at ~.	10	○ 第1時で見た映像を再度見せて、理由を表す表現を想起させる。 ○ 今までに学習した表現を振り返らせる。
[山場の工夫] ○ 自力解決による最初の考え(仮説)の構築 ○ 考えの交流(学び合い) ○ 自力解決による最終的な考えの構築	4 自分の理由をマッピングし、学習した表現で表すことができるか考える。 5 理由を伝える表現をペアで確認する。 6 「入りたい部活動」「楽しみにしている学校行事」を友達にインタビューする。	25	○ 前時のワークシートを用いて、自分の理由を書かせる。英語ではどのように表現するか考えさせる。 ◇ 既習の表現を用いて、自分の考えを表すことができたか。 ○ ペアで発表させ、意見や助言を交流させる。
			○ 友達3人にインタビューをさせ、Let's Play(P70)の表に記入させる。 ◇ 楽しみにしている中学校の生活について、積極的に伝え合うことができたか。



前時の学習で理由や根拠をマッピングし、これらを活用して、自分の考えの理由や根拠を英語で表現させます。

実際の中学生の動画を見せることで児童の興味・関心を高め、英語で伝えたいという意欲を向上させます。

A: What club do you want to join?
B: I want to join the volleyball team.
A: Why?
B: I like volleyball.

○ これまでの学習で積み上げてきた表現を使って、インタビュー活動を行う。

7 何組かのペアがやり取りを発表する。
8 本時で学習した英語表現を、絵カードやヒントワードを参考に書く。
I like volleyball. I can play volleyball.

9 振り返りカードに記入する。

10 家庭学習について確認し、あいさつをする。

視点1



○ ペアのやり取りを学級全体で共有し、活動を振り返らせる。
○ 慣れ親しんだ表現を単語と単語の区切りに注意しながら書かせる。

○ ワークシートになぞり書きの形で取り組ませる。(資料①参照)

○ 本時の活動を振り返らせて、できるようになったことなどを記入させ、自己の変容に気付かせる。(◇振り返りカードの点検)

視点2

○ 家庭学習については、小学校段階の学習内容に鑑み、「書く」ものは避け、音読カードに外国語学習の欄を設け、授業外で友達や家族と話した回数を記入させる形にする。(資料②参照)

5

めあて	入りたい部活動や楽しみにしている行事について、その理由を伝え合おう。	振り返り
入りたい部活動や楽しみにしている行事について、理由を添って友達に伝えることができましたか。	☆☆☆☆	(達成度・習熟度)
インタビューをして、友達が書いていることを聞き取り、理解することができましたか。	☆☆☆☆	

めあて「中学校生活についてのフレンドリーな作成」よう

10 家庭学習について確認し、あいさつをする。

音読カード

月日	国語:単元名	Let's speak English!	正しい姿勢で	や、に気をつけて	英語を話した回数	保護者サイン	先生サイン
		[E]あいさつ「こんにちは」					
		[E]自分の名前					
		[E]中学校で入りたい部活動					

2 理由(1)
わたし/ぼくは ()。 like can want to I'm good at

3 理由(2)
わたし/ぼくは ()。 play study enjoy win the games

4 学校行事について
わたし/ぼくは () を楽しみたいです。

ヒントワードを提示し、書き写せるような形にしている。

なぞり書きができる形のワークシートで「書くこと」に慣れ親しませる工夫をしている。

音読カード 6年 名前

1. 国語の教科書を開いて、「○よくできた、○できた、△もうすこし」の印をつけよう。
2. 英語を友達や家族に話し、言えた人数を書こう。

月日	国語:単元名	Let's speak English!	正しい姿勢で	や、に気をつけて	英語を話した回数	保護者サイン	先生サイン
		[E]あいさつ「こんにちは」					
		[E]自分の名前					
		[E]中学校で入りたい部活動					

外国語科の家庭学習の欄を設ける。

話した回数とチェック欄

(資料② 音読カード)